

算数科 小学校 第1学年 評価規準

■評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

算数科 小学校 第1学年

A 「数と計算」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数の構成と表し方」		
内容のまとめりごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。 個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。 数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみるることができる。 2位数の表し方について理解している。 簡単な場合について、3位数の表し方を知っている。 数を、十を単位としてみることができる。 具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数のまとめりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。 ・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。 ・数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。 ・一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみるができる。 ・2位数の表し方について理解している。 ・簡単な場合について、3位数の表し方を理解している。 ・数を、十を単位としてみるができる。 ・具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ずつや5ずつ、10 ずつなどの数のまとめを用いて、数の数え方を考えている。 ・「10 とあと幾つ」などの数の見方を用いて、数の比べ方を考えている。 ・数の大きさの比べ方や数え方を日常生活に生かす具体的な場面を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの個数や順番に親しみ、大きさを比べたり数えたりしようとしている。 ・ものの個数や順番を数を用いて表すことで、日々の生活が効率的になったり豊かになったりするということよさに気付いている。
---	--	---

(2)「加法及び減法」

内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知っている。 ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
--	---	---

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知っている。 ・合併や増加、求残や求差など、加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・「10 が幾つ」や「10 とあと幾つ」という数の見方などを用いると、簡単な場合について、2位数などの加法及び減法ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある場面が加法及び減法が用いられることができるかどうかを、数量の関係に着目して、具体物や図などを用いて考えている。 ・日常生活の問題を加法及び減法を活用して解決している。 ・和が10より大きい数になる加法及びその逆の減法について、「10 とあと幾つ」という数の見方を用いて、計算の仕方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法が用いられる場面の数量の関係を具体物や図などを用いて考えようとしている。 ・加法及び減法の場面を身の回りから見付け、加法及び減法を用いようとしている。 ・学習したことをもとに、和が10より大きい数になる加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。
--	--	---

算数科 小学校 第1学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 「身の回りにあるものの形」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形を認め、形の特徴を知っている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形について、「さんかく」、「しかく」、「まる」などの形を見付けることができる。また、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴やころがる、重ねられるなどの形の機能的な特徴を理解している。 ・積み木や、箱、色板などを用いて、身の回りにある具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。 ・身の回りにあるものの形について、観察したり、構成したり、分解したりする活動を通して図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。 ・前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある具体物の中から、色や大きさ、位置や材質などを捨象し、形を認め、形の特徴を捉えている。 ・ずらす、回す、裏返すなどの具体的な操作を通して、形のもつ性質や特徴を生かした形の構成について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形に親しみ、観察したり、構成したり、分解したりしようとしている。 ・箱の形や筒の形、ボールの形などを身の回りから見付けようとしている。 ・「さんかく」、「しかく」、「まる」などの形を身の回りから見付けようとしている。

算数科 小学校 第1学年

C 「測定」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 「身の回りにあるものの大きさ」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・長さ、広さ、かさを、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べることができる。 ・身の回りにあるものの長さ、広さ、かさの大小をとらえるなど、量(長さ、広さ、かさ)の大きさについて感覚を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、量の大きさの比べ方を考え、比べ方を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの長さ、広さ、かさに親しみ、大きさを比較しようとしている。 ・媒介物を用いて大きさを比べることで、直接には比べられないものが比べられるようになるというよさに気付いている。 ・身の回りにあるものの大きさを単位としてその幾つ分かで数値化することで、大きさの違いを明確にすることができるよさに気付いている。
(2)「時刻」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で時刻を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・時計の長針、短針を見て、時刻を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気付き、日常生活の中で時刻を用いようとしている。

算数科 小学校 第1学年

D「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数量の整理」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすることができる。 ・対象を絵などに置き換える際には、それらの大きさをそろえることや、並べる際に均等に配置することが必要であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象について、絵や図などを用いて整理して表すことで、どの項目のどのデータの個数がどの程度多いかという事象の特徴を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数を絵や図などに整理して表すことを楽しんで学んでいる。